

農業科で育む力

- ・働く力の育成:種まき、収穫、販売まで一連の流れを体験し、就労に必要な基礎的な力を身につけます。
- ・社会性の向上:地域の方と協力した活動や販売体験を通じて、人とのかかわり方や礼儀を学びます。
- ・生活力の向上:野菜や花を育てる中で、日常生活に役立つ知識や技能を獲得します。
- ・達成感と自己肯定感:自分の手で作った作物が人に喜ばれる経験が、生徒の自信につながります。
- ・持続可能性の理解:稲作や稲わらの活用を通して、資源を無駄にせず循環させる考え方を学びます。

野菜・花の栽培



キャベツ、じゃがいも、さつまいも、なす、枝豆、花壇花、鉢花などを育てています。収穫した野菜は、給食で全校生徒や教職員に提供し、地域の方への販売も行われています。自分たちが育てた作物が食卓にのぼり「おいしい」と言ってもらえる経験は、生徒に大きな達成感と自己肯定感を与えています。花は美しさを届ける喜びを学ぶことができます。

地域との連携 ～田植えから製縄・米俵作り～



本校農業科では、地域の農家の方々の協力を得ながら、田植えから稲刈り、稲わらの活用まで一貫した学習活動を行っています。収穫した「新米」は学校給食で提供され、生徒たちは「自分たちが育てたお米を食べる」喜びを味わいます。



この学習は、10年以上継続しており、地域との深い協力関係のもとで実施されています。田植えから収穫、さらに稲わらの活用に至るまでの一連の取り組みを通して、生徒たちは「農業の循環」や「持続可能な学び」を体験的に学んでいます。